

平成29年12月8日
 東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標 題 雲南市ブランド米振興大会開催（第2回）

（ダイジェスト）

平成29年12月6日（水）16時からチェリバホールに於いて平成29年度雲南市ブランド米振興大会が開催されました。

大会には84名の参加者があり、今年は「つや姫」育成県の山形県から、つや姫マイスターの土屋喜久夫氏と主任専門普及指導員の水戸部昌樹氏を招いて研修会を行いました。

式典では2名の優良生産者表彰、生産実績報告、販売状況報告がありました。

雲南市ブランド米（プレミアムつや姫たたら焔）の2年目を迎え大会が開催されました。

研修会は土屋喜久夫氏（山形県つや姫マイスター）から、魚沼コシヒカリを超える米として行政・生産者・県民一体となったブランド化の取組が紹介され、最後に「東日本では山形のつや姫、西日本では島根のつや姫と言われるよう一緒に頑張ろう。」と激励の言葉がありました。

水戸部昌樹氏（山形県村山総合支庁西村山農業技術普及課）からは、つや姫の特徴やつや姫作付の認定要件・出荷基準を設け、3年連続出荷基準未達者は認定取り消しになること。良質米の基準となる、タンパク値7.5%以下（乾物換算）を達成するための施肥基準や適期・適量の穂肥を行うための生育診断について話がありました。

式典では2名の優良生産者表彰がありました。

生産実績報告では高橋補佐（JA）から、生産量は増えたが、高温の影響で1等米比率46.7%（前年72.2%）、たたら焔米比率5.6%（23.3%）となった報告がありました。

販売状況報告では藤本社長（藤本米穀）より、H28年産米は多少のバラツキが見られ、H29年産米は量が少ないため売り場を絞ったが、新しい販路を開拓していること、台湾での販売では市長と一緒にセールスを行いリピーターも多いことが報告されました。

H29年産米は厳しい結果となりましたが、この大会を通じて平成30年に向けて関係者一体となって取り組んでいきます。



山形県つや姫マイスター一講演



優良表彰2名